

特定小電力ワイヤレスコール  
(総務省技術基準適合品)

## DK-PN01 取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。  
詳細機能については弊社ホームページをご覧ください。



アルインコの製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
本製品は免許、資格不要の特定小電力無線機器です。特定小電力トランシーバ  
ーと組み合わせて、音声ガイダンスによる呼び出しやお知らせシステムを構成す  
るものです。日本国内なら誰でも用途を問わず、各種通信にお使いいただけます。  
本製品の機能を十分に発揮させ効果的にご使用いただくため、この取扱説明書  
をご使用前に最後までお読みください。また取扱説明書や補足シートや正誤表  
などは大切に保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お  
役に立ちます。

## アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-4 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888  
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10-19 サンエイビル4階 TEL.052-212-0541  
大阪支店 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4丁目4-9 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361  
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-34 エコービル2階 TEL.092-473-8034

### アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイヤル ☎0120-464-007

全国どこからでも無料、サービス窓口につながります。  
受付時間/ 10:00~17:00 月曜~金曜(祝祭日及び12:00~13:00は除きます)  
ホームページ <https://www.alinco.co.jp/> > 事業案内 > 電子事業部 をご覧ください。

## 使用前のご注意

### ■ご使用環境

本製品は防水、防塵構造ではありません。水がかかる環境や高温多湿、直射日光があたる  
ところ、粉塵が多い場所は避けてお使いください。

### ■分解しないで

特定小電力無線機器の改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けたり  
することは絶対にしないでください。

### ■使用禁止場所

本製品は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こ  
すことがあります。次のような場所では使用しないでください。  
(航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺)

本製品を使用できるのは日本国内のみです。国外では使用できません。  
This product is permitted for use in Japan only.

### ■通信距離

通話できる距離は周囲の状況や取り付け方によって大きく異なります。  
・店舗などの建屋内: 30 ~ 50m 程度  
・見通しのよいところ: 50 ~ 100m 程度

**注意** ・建屋内の縦階層間の通信はフロアが障害物になるため、直線では数十メートル  
近距離であっても通信できないことがあります。このような場合は中継器を設置  
することで通信エリアを広げることができます。  
・本製品を取り付ける壁の材質や構造によって通信距離が短くなることありま  
す。特に金属壁への取り付けは通信距離が著しく短くなるためご注意ください。

### ■第三者による傍受

電波を使用している関係上、無線機器の通信は第三者による傍受を完全に阻止すること  
はできません。送信する音声ガイダンスの内容は第三者にも聞こえるためご注意ください。

### ■グループトーク機能について

従来製品とグループトーク機能を有効にして音声ガイダンスを送信した場合、受信音声  
が途切れることがあります。このような場合は違うグループ番号に設定変更してお試  
しください。

### ■待機電流について

本製品を乾電池で使用している場合、操作してなくてもわずかな待機電流を消費するた  
めに電池が消費していきます。定期的に[呼出]キーを押して動作確認してください。  
本製品の電池が消費していると、電波を受信したトランシーバーから電池交換をお知  
らせする音声ガイダンスが鳴ります。

## 特定小電力の通信制限について

特定小電力無線機器の通信に関する制限事項について説明します。

### 3分制限(3分以上は連続で送信できません) ……

一般的な特定小電力無線機器は3分以上の連続送信ができないよう定められています。  
本製品は動作原理上3分以上の連続送信ができません。

### キャリアセンス(受信中は送信できません) ……

一定の強さ以上の信号を受信しているときは[呼出]キーを押してもキャリアセンスが働  
き送信(呼び出し)できません。受信信号がなくなるのを待ってから自動的に送信し  
ます。

## 付属品と取り付け方

付属品をご確認ください。

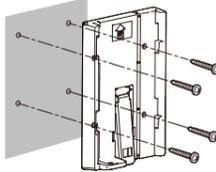
- ブラケット  ブラケット取り付けネジ4本(黒色)
- 盗難防止ネジ1本(銀色)  取扱説明書2枚  保証書

**注意** 保証書ご購入の日付が記載されていないときは領収書やレシートを保証書とい  
っしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無  
効となりますのでご注意ください。

### ブラケットの取り付け

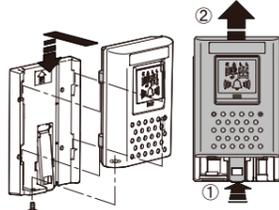
ブラケットの矢印マークを上向きにして壁に付属のネジ(黒色)で取り付けてください。  
ネジの取り付けには適切なプラスドライバーをご用意ください。

**注意** ブラケットと壁の間に隙間がないようしっかりと固定してください。定期的にネジ  
にゆるみがないか、また落下するおそれがないか点検してください。付属のネジで取  
り付けられない壁への設置は、専門の業者へご相談ください。付属品以外のネジ  
を使うと本製品が破損しますので絶対におやめください。



### 本製品の取り付け

本製品の設定と動作確認が完了したらブラケット  
に取り付けてください。4ヶ所の固定ツメを合わせて「カ  
チツ」と音が鳴るまで下向きにスライドさせてください。  
下方から盗難防止ネジ(銀色)を取り付けてください。  
電池交換のために取り外す場合は盗難防止ネジを  
取り外し、ブラケットの金属レバーを押さえながら上  
向きにスライドさせてください。

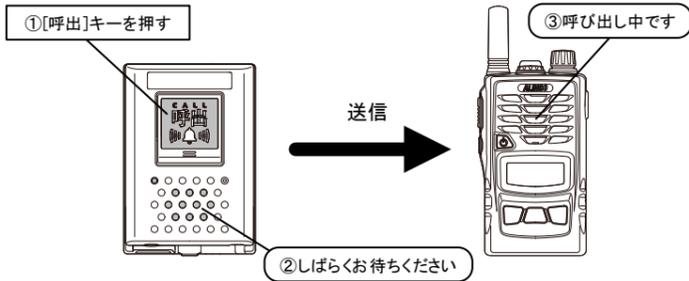


## システム概要

ワイヤレスコールと特定小電力トランシーバーを組み合わせて呼び出しシステムを  
構成します。音声ガイダンスによりスタッフ用トランシーバーへ呼び出しがあったこ  
とをお知らせします。本製品にはあらかじめ定型音声で格納されています。またご  
自身の声を録音して呼び出し音声に使用することができます。

### 例) 受付

ワイヤレスコール (複数台可)      スタッフ用トランシーバー (複数台可)



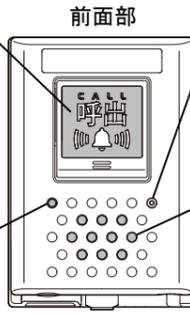
ワイヤレスコールと特定小電力トランシーバーのチャンネルを合わせます。  
グループトーク機能を設定すると同じグループ番号の音声だけが聞こえ混信防止になります。

**メモ** 本システムは一般的な特定小電力無線機器と同じチャンネルを使用しています。  
できるだけ混信を防ぐため先頭(L01やb01)以外のチャンネルやグループ番号の  
使用をおすすめします。

## 各部の名前とはたらき

**[呼出]キー**  
押すと音声ガイダンスが鳴るとともに送信します。特定小電力トランシーバーからは呼び出し音が鳴ります。ご自身の声を録音するときや話すときにも使用します。

**ランプ**  
動作状態を表わします。



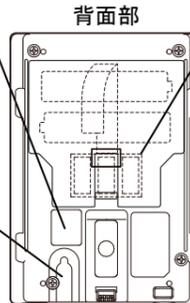
**マイク**  
音声を録音するときやトランシーバーモードで送信するとき話します。

**スピーカー**  
音声ガイダンスが鳴ります。

**QRコード**  
スマートフォンなどでQRコードを読み取り弊社ホームページの取扱説明書を参照することができます。

**ケーブルスリット**  
ACアダプターのプラグが抜けないよう余ったケーブルを固定します。

**電源端子**  
ACアダプターのプラグを接続します。



**設定スイッチ**  
チャンネルやグループ、音声ガイダンスの設定をおこないます。

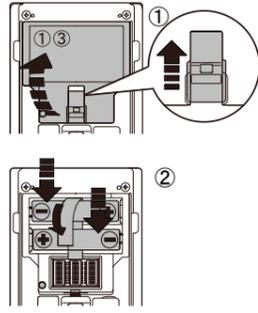


**接続端子**  
パソコンとERW-7(別売オプション)を使用して音声データを設定します。

**メモ** [呼出]キーを押すと「[押しですぐに放す]」ことを指します。

## 電池の入れ方

- 電池カバーを取り外す**  
ロックレバーを矢印の方向へスライドさせ、カバーを上方向へ持ち上げます。
- 電池を装着する**  
赤いテープの上から単三形乾電池2本を「+ / -」の表示に従って装着します。電池を取り外すときは赤いテープを引っぱります。電池を装着すると自動的に電源が入り、チャンネルやグループ番号または再生・録音モードをお知らせするとともにランプが青色点灯した後待機状態となり消灯します。
- 電池カバーを取り付ける**  
電池カバーのツメを本体の切り欠きに合わせ、ロックレバー一部を押し込みます。

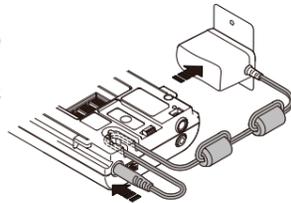


**注意** ・電池の「+ / -」向きを間違えないようご注意ください。  
・電池は同じ種類の新しいものやアルカリなど高性能乾電池をご使用ください。  
・種類が異なる電池や、新品と古い電池を混ぜて使用しないでください。  
・市販の充電電池は形状や電気仕様が合わないためご使用になれません。

## ACアダプターの使用

本製品に電池を装着する代わりに別売オプションのACアダプターを使用して電源を供給することができます。

- 本体下部の電源端子へACアダプター(EDC-122)のプラグを接続します。
- プラグの抜けを防止するため余ったケーブルを本製品背面のスリットへ押し込みます。
- ACアダプターを接続すると自動的に電源が入り、チャンネルとグループ番号をお知らせするとともに、ランプが青色点灯したあと待機状態となり消灯します。



**注意** ・弊社指定のオプション以外は接続しないでください。故障の原因となります。  
・本製品を長時間使用しないときはACアダプターを取り外してください。  
・充電電池を装着してACアダプターを接続しても充電することはできません。

## 基本操作

### 呼び出し

[呼出]キーを押すとランプが青色になります。

本製品のスピーカーから「呼び出し中です、しばらくお待ちください」が鳴ったあと特定小電力トランシーバーへ向けて呼び出しのための「ブルブル音」と「呼び出し中です」の音声ガイダンスを送信します。次項で記載の「スイッチ2(1 ~ 6番) 個体番号」を設定していると「\*\*番」「呼び出し中です」と番号案内します。送信終了時には待機状態となり消灯します。

**メモ** 本製品にはテールノイズキャンセラー機能が搭載されています。特定小電力トランシーバーにも本機能が搭載されている場合は、送信終了時の「ザツ」というノイズが軽減されます。

**注意** ・第三者の通信によりチャンネルが使用されているとキャリアセンスが働き送信できません。チャンネルが空くの待って送信するため特定小電力トランシーバーへ音声のお知らせが遅れます。  
・送信タイミングによっては特定小電力トランシーバーの受信音声が届きにくく場合がありますため、ご注意ください。

### 減電池お知らせ

電池が消耗しているときに呼び出し動作をすると、減電池をお知らせする音声ガイダンスを送信します。特定小電力トランシーバーから一連の呼び出し音声が終わったあとに「電池を交換してください」と鳴ります。その場合は新しい電池に交換してください。

**メモ** ・本製品は使用してなくてもわずかな待機電流により電池が消耗します。電池残量を確認するために[呼出]キーを押して動作確認してください。  
・「スイッチ3: (5番)トランシーバーモード、(6番) 近所声かけ当番」に設定している場合は、減電池をお知らせする音声ガイダンスがスピーカーから鳴ります。また電池の電圧が低下するとランプが青色点滅してお知らせします。さらに電圧が低下すると点滅周期が速くなり自動的にスリープモードに入ります。その場合は新しい電池に交換してください。

### リセット(初期化)

- [呼出]キーを押しながら電池を装着します。(約5秒間)
- 途中でランプが青色点灯しますが、そのまま押し続けると黄色点滅に変わります。「初期化しました」と現在のチャンネル・グループ番号が鳴ります。
- その後ランプが消灯し待機状態となります。

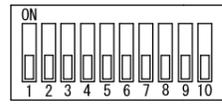
**メモ** 録音音声以外の設定書き込み内容はすべて初期化されます。

## 設定方法

本製品背面の電池カバーを取り外し、内部のスイッチ1~3を操作して各機能を設定します。出荷状態ではすべてのスイッチはOFFに設定されています。スイッチの操作はペン先などの先端が鋭利ではないものをご使用ください。

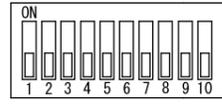
### スイッチ1

チャンネル(1~5番)、単信/中継選択(6番)、グループトーク(7~9番)、コンパンド(10番)の設定をおこないます。



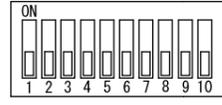
### スイッチ2

個体番号(1~6番)、音量(7~8番)、音声回数(9番)、音声再生(10番)の設定をおこないます。



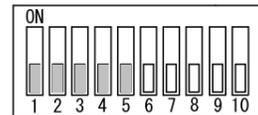
### スイッチ3

録音、モード切り替え、マイク音量の設定をおこないます。



### スイッチ1 (1~5番) 単信チャンネル

特定小電力トランシーバーと同じチャンネルに合わせます。

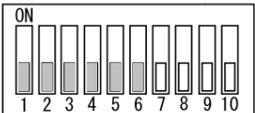


単信チャンネル	スイッチ1				
	1	2	3	4	5
L01	ON				
L02		ON			
L03	ON	ON			
L04				ON	
L05	ON		ON		
L06		ON	ON		
L07	ON	ON	ON		
L08				ON	
L09	ON			ON	

単信チャンネル	スイッチ1				
	1	2	3	4	5
b01		ON			ON
b02	ON	ON			ON
b03			ON	ON	
b04	ON		ON	ON	
b05		ON	ON	ON	
b06	ON	ON	ON	ON	
b07					ON
b08	ON				ON
b09		ON			ON
b10	ON	ON			ON
b11			ON		ON

## スイッチ1 (1～6番) 中継チャンネル

特定小電力トランシーバーや中継器と同じチャンネルに合わせます。



中継チャンネル	スイッチ1					
	1	2	3	4	5	6
L10	ON					ON
L11		ON				ON
L12	ON	ON				ON
L13			ON			ON
L14	ON		ON			ON
L15		ON	ON			ON
L16	ON	ON	ON			ON
L17				ON		ON
L18	ON			ON		ON

中継チャンネル	スイッチ1					
	1	2	3	4	5	6
b12		ON		ON		ON
b13	ON	ON		ON		ON
b14			ON	ON		ON
b15	ON		ON	ON		ON
b16		ON	ON	ON		ON
b17	ON	ON	ON	ON		ON
b18					ON	ON
b19	ON				ON	ON
b20		ON			ON	ON
b21	ON	ON			ON	ON
b22			ON		ON	ON

**メモ** 他社製のの中継器はアクセス手順が異なるため使用できない場合があります。

b23	ON		ON		ON	ON
b24		ON	ON			ON
b25	ON	ON	ON		ON	ON
b26				ON	ON	ON
b27	ON			ON	ON	ON
b28		ON		ON	ON	ON
b29	ON	ON		ON	ON	ON

## スイッチ1 (7～9番) グループトーク

特定小電力トランシーバーや中継器にグループトーク機能が設定されている場合はグループ番号を合わせます。

同じグループ設定の人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

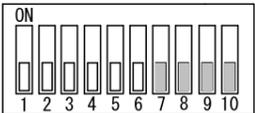
同じグループのトランシーバーすべてに同じ番号を設定します。グループ番号はOFFと1～7の8通りです。

**メモ** 混信を避けるため01番以外に設定することをおすすめします。

## スイッチ1 (10番) コンパンダ

特定小電力トランシーバーがコンパンダ機能を使用している場合はONに設定します。

この機能を使用すると通信時のバックノイズが低減され受信音声聞き取りやすくなります。

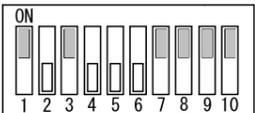


グループ	スイッチ1		
	7	8	9
OFF			
1	ON		
2		ON	
3	ON	ON	
4			ON
5	ON		ON
6		ON	ON
7	ON	ON	ON

コンパンダ	スイッチ1
OFF	
ON	ON

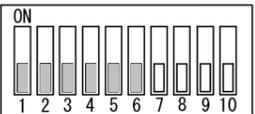
## 【設定例】チャンネルとグループトークとコンパンダ

チャンネルL05(単信)/グループ番号 7 /コンパンダ ONに設定した場合は下記ようになります。



## スイッチ2 (1～6番) 個体番号

個々の本製品に個体番号を設定します。-(番号なし)～63番までの64通りです。設定後は[呼出]キーを押すと送信音声が「\*\*番 呼出中です」となります。



**注意** 録音や組み合わせ音声・VOXモードを設定している場合は、個体番号が設定されませんのでご注意ください。

個体番号	スイッチ2					
	1	2	3	4	5	6
-						
1	ON					
2		ON				
3	ON	ON				
4			ON			
5	ON		ON			
6		ON	ON			
7	ON	ON	ON			
8				ON		
9	ON			ON		
10		ON		ON		
11	ON	ON		ON		
12			ON	ON		
13	ON		ON	ON		
14		ON	ON	ON		
15	ON	ON	ON	ON		
16					ON	
17	ON				ON	
18		ON			ON	
19	ON	ON			ON	
20			ON		ON	

44			ON	ON		ON
45	ON		ON	ON		ON
46		ON	ON	ON		ON
47	ON	ON	ON	ON		ON
48					ON	ON
49	ON				ON	ON
50		ON			ON	ON
51	ON	ON			ON	ON
52			ON		ON	ON
53	ON		ON		ON	ON
54		ON	ON		ON	ON
55	ON	ON	ON		ON	ON
56				ON	ON	ON
57	ON			ON	ON	ON
58		ON		ON	ON	ON
59	ON	ON		ON	ON	ON
60			ON	ON	ON	ON
61	ON		ON	ON	ON	ON
62		ON	ON	ON	ON	ON
63	ON	ON	ON	ON	ON	ON

## スイッチ2 (7～8番) 音量

本製品のスピーカーから鳴る音声の音量を設定します。音量は4段階に調整できます。初期状態では音量1(最小)に設定されています。

4段階目は消音に設定されます。

[呼出]キーを押して適切な音量に調整してください。

**メモ** ・再生確認でも音声調整できます。  
・「スイッチ3: (5番)トランシーバーモード、(6番)ご近所声かけ当番」に設定している場合は、受信音声の音量も変化します。

## スイッチ2 (9番) 送信音声回数

送信音声の回数を設定します。初期状態では1回ですがONにすると特定小電力トランシーバーへ送信する音声が2回になります。

**メモ** 再生確認でも音声回数を確認できます。

## スイッチ2 (10番) 再生

ONにして[呼出]キーを押すと設定された定型音声または録音音声本製品のスピーカーから再生し確認できます。

音量	スイッチ2	
	7	8
1(最小)		
2	ON	
3		ON
消音	ON	ON

音声回数	スイッチ2
1	
2	ON

再生	スイッチ2
OFF	
ON	ON

## スイッチ3 (1～2番) 録音

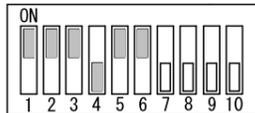
本製品は2種類のご自身の声を録音することができます。

それぞれ選択された番号に録音され、それらを送信音声に使用することができます。

21		ON		ON		ON
22		ON	ON	ON		ON
23	ON	ON	ON			ON
24				ON	ON	
25	ON			ON	ON	
26		ON		ON	ON	
27	ON	ON		ON	ON	
28			ON	ON	ON	
29	ON			ON	ON	
30		ON	ON	ON	ON	
31	ON	ON	ON	ON	ON	
32						ON
33	ON					ON
34		ON				ON
35	ON	ON				ON
36			ON			ON
37	ON		ON			ON
38		ON	ON			ON
39	ON	ON	ON			ON
40				ON		ON
41	ON			ON		ON
42		ON		ON		ON
43	ON	ON		ON		ON

## 【設定例】個体番号

個体番号55に設定した場合は下記ようになります。



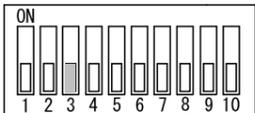
## 録音方法

- スイッチ3( [1種類目] 1番または[2種類目] 2番)をONにします。
- [呼出]キーを押し続け「ビピッ」と鳴ったらマイクに向かって近づけて(2～3cm)話します。その場合ランプが緑色点灯し録音が始まります。
- 話し終わったら[呼出]キーを放します。保存中はランプが緑色点滅します。
- 直後に録音した音声自動的に再生し、確認することができます。
- 再生後は自動的に待機状態となります。
- 録音した内容を送信音声に使用するにはスイッチ3(1～2番)をOFFにし、スイッチ3(3番)をONにしてください。

**メモ** ・スイッチ3(1～2番)を両方ONにすると1種類目の録音が設定されます。  
・録音に失敗した場合は再度①から始めてください。

## スイッチ3 (3番) 定型音声/録音音声

[呼出]キー操作での送信音声を定型音声か録音音声か選択できます。



## 定型音声

- スイッチ3(3番)OFFにします。
- [呼出]キーを押すとスピーカーから「呼び出し中です しばらくお待ちください」が鳴ります。
- 受信側である特定小電力トランシーバーに「呼び出し中です」とお知らせします。

## 録音音声

- スイッチ3(3番)ONにします。
- [呼出]キーを押すとスピーカーから「ピンポン音」が鳴ります。
- 受信側である特定小電力トランシーバーに1種類目の録音音声をお知らせします。

**メモ** ・2種類目の録音音声を送信音声にする場合は、②[呼出]キーを2回押してください。  
・録音されていない場合は、「録音されていません」とお知らせします。  
・スイッチ3(6番)ご近所声かけ当番・(7番)VOX検知の場合でも設定できます。

## スイッチ3 (4番) 組み合わせ音声

[呼出]キー操作での送信音声を自由に組み合わせ設定することができます。

詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.alinco.co.jp/> / 「電子事業部>ダウンロード>特定小電力」

## スイッチ3 (5番) トランシーバーモード

簡易的に特定小電力トランシーバーとして使用できます。

- 待機状態でスイッチ3(5番)ONにします。
- [呼出]キーを押し約2秒後に「ビピ音」とともにランプが青色点灯します。
- [呼出]キーを押しマイクに向かって話します。(ランプ:赤色点灯)
- [呼出]キーを放すと受信待ち受けし、ランプが青色点灯します。
- 受信中はランプが緑色点灯しスピーカーから受信音声が鳴ります。

**メモ** ・トランシーバーモードをOFFにする場合は、スイッチ3(5番)をOFFにしてください。

**注意** ・スイッチ3(1～4番)をOFFにしてから使用してください。  
・受信待ち受け中は待機状態とは異なり電流大きく消費するため長時間の利用にはご注意ください。

## スイッチ3 (6番) ご近所声かけ当番

基本動作である「呼び出し」と送信・受信の機能を組み合わせ使用できます。

## 呼び出し

- 待機状態でスイッチ3(6番)ONにします。
- [呼出]キーを押し約2秒後に「ビピ音」とともにランプが青色点灯します。(受信待ち受け)
- 受信待ち受け中に[呼出]キーを押すと「お知らせします」がスピーカーから鳴ります。
- 受信側である特定小電力トランシーバーに「呼び出し中です」とお知らせします。

## 送信・受信

- 受信待ち受け中に[呼出]キーを2回続けて押すと「ビピ音」が鳴ったあとマイクに向かって話します。(ランプ:赤色点灯)
- [呼出]キーを放すと受信待ち受けし、ランプが青色点灯します。
- 受信中はランプが緑色点灯しスピーカーから受信音声が鳴ります。

**メモ** ・ご近所声かけ当番をOFFにする場合は、スイッチ3(6番)をOFFにしてください。

**注意** ・スイッチ3(1～5番)をOFFにしてから使用してください。  
・受信待ち受け中は待機状態とは異なり電流大きく消費するため長時間の利用にはご注意ください。また受信待ち受け中に「呼び出し、送信・受信」をお試しください。

## スイッチ3 (7番) VOX検知

音声を検知して音声ガイドンズでお知らせします。

- 待機状態でスイッチ3(7番)ONにします。
- [呼出]キーを押し約2秒後に「ビピ音」とともにランプが消灯します。
- マイクに向かって近づけて話します。音声を検知するとランプが青色点灯します。
- 受信側である特定小電力トランシーバーに「音声を検知しました」とお知らせします。
- 音声(ご自身の声・アラーム音)が続けていれば、送信を保持します。
- 音声がなくなれば待ち受け状態になり消灯します。

**メモ** ・VOX検知をOFFにする場合は、スイッチ3(7番)をOFFにしてください。

**注意** ・スイッチ3(1～6番)をOFFしてから使用してください。  
・待ち受け状態とは異なり電流大きく消費するため長時間の利用にはご注意ください。

## スイッチ3 (8～10番) マイク音量

送信音声の音量を調整できます。1～3の3通りです。(※録音音声には対応していません)



マイク音量	スイッチ3		
最小	8	9	10
1	ON		
2		ON	
3			ON

**メモ** ・スイッチ3「マイク音量」表通りに正しく設定してください。

## 故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
音が出ない 送信しない ランプが点かない	電池の残りが少ない	新しい電池と交換してください
	電池の向きを間違えている	「+/-」の表示に従って正しく装着してください
特定小電力トランシーバーに信号が伝わらない	ACアダプターから電圧が供給されていない	プラグやACコンセントへの接続を確認してください
	チャンネルやグループ番号が異なっている	スイッチ1の設定を見直してください
音量が小さすぎる または大きすぎる	適切な音量に設定されていない	スイッチ2の設定を見直してください
	適切な内容に設定されていない	スイッチ2、3の設定を見直してください
正しい音声ガイドンズを送信しない	録音されていない	スイッチ3を設定し録音し直してください

電池の残りが少ないとまれに誤作動することがあります。新しい電池に交換してください。

## 生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

## オプション一覧

EDC-122 ACアダプター

## 定格

送受信周波数	Lチャンネル	421.8125～421.9125MHz (受信)
		422.2000～422.3000MHz
	bチャンネル	440.2625～440.3625MHz (送信)
		421.5750～421.7875MHz (受信)
		422.0500～422.1750MHz
		440.0250～440.2375MHz (送信)
電波形式	F3E(FM)	